

二胡の響きにうつつとり

豊橋で中村さんと「胡之音会」

恒例の七夕ライブ

豊橋市東新町の市障害者福祉会館「さくらピア」で4日夕、恒例の「七夕ライブ」が開かれた。新型コロナウイルス対策を

施した会場で、集まった60人が二胡の響きに耳を傾けた。

今年の出演は二胡奏者の中村ゆみさんと、中



村さんが主宰する「胡之音会」の皆さん。中村さんは5歳頃からクラシックピアノを始め、高校からはロックバンドでキーボードを担当。約8年シンセサイザー奏者として活躍した後、中国伝統民族楽器「二胡」に出合った。現在は演奏活動のほか、岡崎、蒲郡、豊橋などで教室も開く。

ライブでは中村さんのソロ演奏と、胡之音会の合奏を披露。「サライ」「愛をこめて花束を」「栄光の架橋」といった曲を演奏し、フィナーレでは出演者の孫が人気マンガ

恒例の七夕ライブIIさくらピアで(提供)

「鬼滅の刃」の衣装で「パプリカ」を演奏に合わせ踊り盛り上げた。

近隣住民をはじめ、同館利用者、音楽ファンなど、

障害の有無を問わず多くの人が集まり、笑顔で演奏に聴き入った。アンコール曲「水戸黄門」では小さな声で口ずさんでいる人もいた。

会場には七夕飾りやクラフト教室によるてるてる坊主も飾られ、来場者



二胡奏者の中村さんと、中村さんが主宰する「胡之音会」の演奏
|| 同

の心を演奏とともに和ませた。

【田中博子】